

北九州市響灘ビオトープ指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	(指定管理者候補団体)
1 指定管理者としての適性について	<p>(1) 施設の管理運営 (指定管理業務)</p> <p>【理念】 「自然に恩返し、次世代に贈り物」</p> <p>将来も生物多様性を保全する社会を目指し、自然に関する学習及び交流の場の提供、人材の活用・育成と生態系に配慮した維持管理、効率的な施設の運営に努める。</p> <p>【基本方針】</p> <p>指定管理業務を遂行するため、北九州市環境基本条例及び北九州市響灘ビオトープ条例、「第2次北九州市生物多様性戦略」にリンクする6つの基本方針を設ける。</p> <p>〈1 自然環境保全〉 〈2 学習・交流〉 〈3 理解深度〉 〈4 情報収集提供〉 〈5 SDGs〉 〈6 体制〉</p> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24 (2012) 年度の開園準備から同年10月オープン後の植生管理を行ってきた人材を含む経験者の採用 (予定) や、新規採用も行い、環境人材の育成を図る。 ・現場のクルー (ガイドするスタッフ) や共同事業体職員は、維持管理に必要な資格であるビオトープ管理士や狩猟免許、環境に関連する環境カウンセラー、地球温暖化防止コミュニケイターの資格を有した人材など関連する分野の知識と経験を有した人材である。 ・共同事業体を構成する3団体は、毎年堅調な経営利益を計上しており、財政基盤は安定している。 ・共同事業体には、労務管理や経営、ISOなどの品質管理に精通した人材も有している。 <p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州ビオトープ・ネットワーク研究会は、市民参加型の保全活動を継続的に実施し、地道な取り組みが環境省や総務省、北九州市から表彰されるなど、誠実な活動をしている。 ・エコプラン研究所は、指定管理者として、環境ミュージアム、玄海青年の家などの共同企業体の一つとして環境に関する事業の企画・運営に携わる他、行政からの委託業務による自然環境調査など豊富な実績がある。 ・福山コンサルタントは、「新しい社会」をつくる専門家集団として、高い職業倫理を備えて、人々の生活を支える社会資本

	<p>整備とその活用施策の立案支援に携わっている。</p> <p>・本ビオトープは、廃棄物処分場跡地という特異な場所にあり、開園以前の埋立て状況に詳しい人材を採用予定のため、自然現象への影響にも対応でき、経験を活かした施設の維持管理ができる。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 管理運営計画の 適確性</p> <p style="text-align: center;">【有効性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 施設の設置目的達成に向けた取組み</p> <p>【入園者数】 直接的な入園者数の安定的な利用（18,100→18,500人/年）を図るとともに、間接的に出前型のプログラムの提供や、環境系イベントへの出張などにより受益者の増加に努める。</p> <p>【生物多様性保全の3本柱】 ①緑の拠点強化と回廊ネットワーク、②希少種の保全、外来種の駆除と移入防止、③データベースの作成、発信</p> <p>【広報】 双方型の情報の受発信 ①お客様発信の口コミやSNS投稿による利用促進のための満足度向上努力、②普及しているSNSを活用し、リアルタイムかつ利用者と双方向型の情報受発信、③学術会議や自然系・環境系・観光系委員会等に加盟し、施設PRおよび集客のための積極的な情報の受発信</p> <p>(2) 利用者の満足度</p> <p>【お客様アンケートの満足度】 99%を目指す。</p> <p>【お客様の満足が得られるための取組み】 ①ガイドなくても園内で情報を得る掲示物の設置、②グローバル化対応、③不満足を改善し、強みに変える</p> <p>【お客様の意見を把握し、それらを反映するための仕組み】 ①（事前）提案してもらえぬ雰囲気づくり、②（改善）提案カルテの作成、③（対策）アドバイザー会議の実施</p> <p>【利用者への情報提供を図るための取組み】 ①オリジナルキャラクター誕生、②Free Wi-fi 設備の設置の検討、③生態系サービスの価値の見える化の検討</p>

	<p>【効率性】に関する取組み</p>	<p>(3) 指定管理料及び収入</p> <p>【利用料金の設定】 ビオトープ園の入園料は一般¥100、児童生徒無料からスタートし、将来的には、お金を出してでも入りたい施設を目指す。</p> <p>【指定管理料】 ①過去の利用実績に基づいた適切な人員配置、②グリーン購入規定遵守、③マニュアルに基づく適正かつ効率的な取引</p> <p>【収入最大限確保】 ①共同事業体より人員派遣、②経験に基づく植生管理、③徹底した光熱費の低減のための作業効率化</p> <p>平成31年 41,776千円 平成32年 41,592千円 平成33年 41,819千円 平成34年 41,919千円 平成35年 41,966千円</p> <p>(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <p>【収支計画、積算根拠】 これまでの利用者数とその季節変化など実績をベースにした収支計画とした。</p> <p>【収入増加提案】 ①出前型の講座の実施や、外部での環境イベント等に積極的に出向き、本ビオトープのPRと本市の生物多様性施策の普及を積極的に行う。②再委託先の選定や備品購入などにおいて共同事業体の各社の取引先の単価と比較し、経費削減に努める。③外部の補助金や業務委託などの獲得にチャレンジする。④施設や設備等の管理は丁寧に扱うことを基本とし、専門家や業者のアドバイス尊重し、劣化の進度減速と安全管理に努める。</p>
--	----------------------------	--

	<p>【適正性】 に関する 取組み</p>	<p>(5) 管理運営体制など</p> <p>【人員配置】 過去の利用状況を鑑み、7人体制による体制を基本とし、イベントや繁忙期に適宜、共同企業体より人材応援できる体制を構築する。</p> <p>【管理体制】 ①業務はマルチタスク化を図り、クルーの人件費の効率化を進める。②共同事業体でバックアップする体制を構築する。</p> <p>【資格、経験】 クルーは、本ビオトープにおけるガイド経験が豊富であったり、ビオトープ管理士や生物分類技能検定を有したりする人材を配置する。</p> <p>【資質向上の取組み】 業務能力向上のためのスキルアップ研修、コミュニケーション力や接客研修の他、他施設の視察や交流等を通じて、クルーの資質・能力と社会適応力の向上を図る。</p> <p>【連携、協働】 施設ネットワークと活動ネットワークのハイブリッドによる連携、協働を促進する。</p> <p>(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>【個人情報】 「北九州市個人情報保護条例」と個人情報保護内部規定に基づいた取り扱いを徹底する。</p> <p>【平等利用】 本ビオトープの設置目的を十分に認識し、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」、「福岡県福祉のまちづくり条例」、本市の「障害を理由とする差別をなくし誰もが共に生きる北九州市づくりに関する条例」など施策に基づき、全ての人が利用しやすい施設を目指す。</p> <p>【安全対策、危機管理体制】 事故やケガ発生時の緊急対応マニュアルを徹底し、お客様の安全管理を確保するとともに、リスクの低減と回避を速やかに行う。</p> <p>【危機管理体制】 危機管理体制については、安全管理マニュアルに基づいた行動を徹底する。</p>
--	--	--